日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな～れ
216号
2019年10月
部内資料
発行責任者　太田　勍　(62-5727)
議員連絡先　うすい孝彦　(62-5093)
服部　久子　(62-4357)
編集責任者　山本　久子　(61-1066)

連載 郷土の宝「北安曇郡歌」②

作詞者の浅井洌先生は、嘉永2年（1849年）生まれで昭和13年（1938年）に亡くなりました。松本藩士大岩昌言の子として育ちましたが、12歳で浅井家の養子となり、のちに学校教員の道を志し長野県師範学校などで、国語・漢文・習字を教え自らも和歌を親しむ教育者でした。

長野県歌「信濃の国」に代表される郷土愛と穏やかな作風が好まれ、県内に多くの校歌、唱歌を残しています。

二番歌詞
町村数は十七の　中にも池田大町は
郡内百貨の輻輳地　五穀蚕業麻煙草
造林開墾年々に　輸出の額もいと多し

明治の北安曇行政区画は17町村（絵図参照）ありました。

北小谷村、中土村、南小谷村、北城村、神城村、美麻村、平村、大町、常盤村、社村、八坂村、松川村、池田町村、広津村、会染村、陸郷村、七貴村です。

なかでも池田・大町は商業、産業が盛んで買い物客でにぎわった所です。

明治の北安曇行政区画

三番歌詞
青木中綱木崎湖は　北より南に相ならび
その水脈も連なりて　沖の釣り舟網びき舟
秋の木の葉と見る迄に　浮かべるさまぞ面白き

仁科三湖の美しい情景が詠まれています。思索の青木湖、休養の中綱湖、周遊の青木湖と言われ山紫水明の言葉どおり、アルプスの山が映え水が清く自然の湖が眺められます。当時はワカサギなどの魚を捕る釣り舟や網引きの舟が盛んであったとのことです。素晴らしい四季の風情は、変わることなく見ることが出来ます。

横沢脩夫さんに聞く
取材は牛越邦夫さん

日本農業に大打撃の日米貿易協定署名

日米両政府は10月7日、ホワイトハウスで日米貿易協定とデジタル貿易協定に正式に署名しました。

貿易協定は、牛肉に対する関税を38．5％から最終的に9％にまで削減するなど、米農産物に対して大幅に市場を開放します。

日本が輸出する自動車や同部品への関税撤廃は見送られ、日本側が一方的に譲る内容です。

ホワイトハウスの声明は、牛肉、豚肉、鶏肉、小麦、チーズ、ワインなど約72億ドル（約7600億円）相当の米食料品が関税を撤廃または削減されるとし、「日本へ輸出する米農産物の90％以上が無税か特恵関税扱いとなる」と強調し『米国の農家にとって巨大な勝利だ』と声明を発表しました。

安倍首相は交渉内容を国民に隠したまま、アメリカの言いなりに譲歩を重ね、日本の農業に大きな打撃を加えました。今後、さらに包括的な貿易協定の交渉を約束しています。農業だけでなく食の安全、医療保険、公共調達などあらゆる分野がグローバル企業の市場として再編されていくおそれがあります。

新自由主義的「自由貿易路線」を阻止する運動を強める必要があります。

渋田見　太田勍

「赤旗信州秋まつり」中止のお知らせ

台風19号災害により、長野県では千曲川の堤防の決壊や支流の氾濫などで、3人が死亡、2人が行方不明、900戸を超える浸水被害が発生し、県内各所で土砂災害、道路の破壊・破損、農業被害もうまれ、かつてない大災害が長野県を襲いました。

こうした状況から11月10日に予定していた「赤旗信州秋まつり」を中止することになりました。ボランティア支援や救援募金に取り組んでいますのでご協力をお願いします。

国民の生活に直結する臨時国会

10月4日から開始された臨時国会は12月9日まで開かれますが、消費税増税の強行、安倍改憲阻止、関西電力原発マネー、日米貿易協定、辺野古米軍新基地建設など国民の生活と安全に重要な課題が論じられています。

生活を圧迫する消費税

共同通信の世論調査では、増税後の経済不安は70％を超えており「生活が不安」との声が多く出されています。

「増税は社会保障のため」としながら、医療費の負担増や年金の給付削減を計画しています。

さらに介護保険の利用料や75歳以上の医療費窓口負担を2割に引き上げようとするなど、消費税増税は矛盾だらけです。

野党共闘で改憲阻止

安倍首相は現憲法を遵守しなければならない責任を放棄し、所信表明で「令和の新時代の国創り」を強調して憲法改定を主張しました。

参院選では改憲発議に必要な3分の2を割り込んだのが民意です。

野党は引き続き安倍改憲に反対し、結束を強化していく構えです。世論調査は、9条改憲「必要なし」の回答が56％です。

関電原発マネー還流

関西電力の経営幹部らが、原発が立地する高浜町元助役から3億2千万円相当の現金・スーツ券・金貨・小判を受け取った「原発マネー還流問題」に安倍首相は一言も触れません。

国民が支払った電気料金が原資です。原発再稼働を最優先する安倍政権の「国策」の中で噴出した、関電疑惑は揺るがせにできません。

自民幹事長代行の稲田明美衆院議員（福井1区）にも献金があったと報道もされています。

米国に譲歩を重ねた「日米貿易協定」、沖縄県民の意思を無視した「辺野古米軍基地」なども重要な問題として厳しく追及がされます。12月まで注目していきましょう。

文芸欄

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

俳句

酒造所の歴史を醸す秋の水　みち子
リハビリの悲喜こもごもよ鱗雲　さちよ
髪カット値上がりの秋免れず　かなこ

コラム 有明

長野県の町村議会・9月定例会で、沖縄の米軍普天間飛行場を名護市辺野古への移転促進を国に求める「意見書」を、賛成多数で採択する異例な事態となっている。「意見書」を可決したのは、上伊那郡南箕輪村議会、同郡辰野町議会、上水内郡信濃町議会だ▼何故、遠く離れた長野の地方議会が、米軍基地の辺野古移転促進を求めるのだろうか。太平洋戦争における沖縄戦の惨状、日本軍から集団自決を迫られた住民、そして戦後30年近く米軍統治下にあった県民の苦しみ。世界一危ないと云われる普天間飛行場も、銃剣とブルドーザーにより住民の土地を強奪して作ったものだ▼国土の4％に満たない沖縄に、日本中の米軍基地の75％が密集している現状を、南箕輪村・辰野町・信濃町議会はどう理解しているのか。まず、日米安保の見直し、米軍基地の縮小・廃止の要求をすべきではないか▼長野県の自治体として恥ずかしくない行動をしてもらいたい。しかし、上水内郡飯綱町議会が、全議員の反対で不採択にしたのは救いだ。